

# かめだより

発行：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院/地域医療支援部・地域医療連携室  
発行責任者：亀田俊明 編集責任者：蔵本浩一

〒296-8602 千葉県鴨川市東町929

TEL：04-7099-1261(内線7156)



## index

- P2 … 地域医療を担う専門性を活かした  
質の高い医療・介護の紹介 (シリーズ5)  
循環器内科診療科における特定認定看護師の活動
- P3 … 地域医療機関様より  
館山病院
- P4 … 当院診療科より  
脳血管内治療科
- P5 … 消化器外科より  
ロボット支援下手術
- P6 … スタッフひろば  
レストラン亀楽亭より

### 〔05〕 循環器内科における特定認定看護師の活動



高度臨床専門職センター 水上 奈緒美

#### 1. 特定・認定看護師の役割

看護師特定行為とは、「診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる行為」\*です。厚生労働省で定められた看護師特定行為研修を修了することで資格を得ることができます。

現在、日本看護協会は、医療提供体制の変化や将来のニーズに対応し、より水準の高い看護実践ができる認定看護師を社会に送り出すため、特定行為研修を組み込んだ認定看護師教育にも力を注いでいます。

認定看護師は特定の看護分野において、実践・指導・相談の3つの役割を果たしますが、特定行為によって、より質の高いタイムリーな患者対応が求められています。

#### 2. 循環器内科チームにおける看護活動

現在私は、特定行為研修を修了したクリティカルケア認定看護師として、循環器内科チームで、循環器に関わる患者さまを対象に、集中治療室から一般病棟、クリニック外来などにおいて幅広く活動しています。長年の集中治療室での経験と現在の資格を活かしながら、患者さまのより良いケアの提供とQOL向上に向けた取り組みに力を注いでいます。

循環器内科の患者さまの多くは、心機能が低下しており、心不全の症状コントロールが重要にな

ります。患者さまの入院から退院、そして外来診療の場にわたるまで、多職種と協働しながら患者指導に携わらせていただいています。

ペースメーカーなどの埋め込み型心臓デバイス挿入中の患者さまでは、臨床工学技士とも協働し、遠隔モニタリングから患者さまの心不全悪化予防のための介入を行います。モニタリングにて重篤な不整脈が確認されたときや、心不全の指標が上昇している状態の場合には電話で連絡を行い、受診を促すことで状態悪化を予防します。

また、外来では心不全予防のための生活指導だけでなく、心不全患者さま特有のメンタルサポートにも関わります。低心拍出症候群などの症状に伴い、やる気が出ない、出かけるのが憂鬱などの症状にも着目し、医師とも情報共有を行い介入に繋がっています。

#### 3. 診療科チームにおける看護のやりがい

循環器内科診療部は、外来診療と並行してカテーテル治療や内科的処置・検査を行い、救急患者の対応も行います。その中で、医師の通常診療を妨げずに、看護スタッフと協働しながら患者さまに必要なタイムリーなケアに対応し、患者ケアを調整していくことは重要な役割です。何よりも緊急入院から外来までを通して患者さまと関わることができるのは、大切なやりがいとなっています。

\*厚生労働省

トピックス

勉強会・研修会開催のご案内

#### 2023年度ELNEC-Jコアカリキュラム

【日時】 1日目：2023年10月28日(土)9時～17時  
2日目：2023年11月4日(土)9時～17時

※2日間全モジュールを受講すると修了となります

【会場】 亀田総合病院 Kタワー13階  
ホライゾンホール

【対象】 終末期医療に携わる医療者

【申込】 QRコードより

【締切】 2023年10月13日(金)

【定員】 30名



#### 2023年度がん看護基礎コース研修

【日時】 1日目：2023年11月24日(金)8時～17時30分  
2日目：2023年12月1日(金)8時～17時30分

【会場】 亀田総合病院 Kタワー12階 会議室

【対象】 がん看護に興味のある看護師、  
もしくは他職種(経験年数1年目でも可)  
アンケートに協力できる方に限る

【申込】 QRコードより

【締切】 2023年11月10日(金)

【定員】 20名





# 地域医療機関さまより



## 館山病院

院長 佐藤 猛



▲エントランスホール

▲院長 佐藤 猛

### 医療、介護、そして理想の在宅ケア ～地域医療のタスキを繋いで～

館山病院は明治24年、地域住民の方々の要望に応え、安房出身の川名博夫医師が内科病院として開業し、市民病的な立ち位置で医療を開始しました。その後、大正12年の関東大震災によって、病棟やその他建造物のほとんどが崩壊しましたが、翌13年には現在の資生堂の支援を受け病院を再建し、昭和52年に移転前の病院である本館・新館が完成しました。昭和の激動戦後の時代を経て現在に至り、令和5年10月には創立132年を迎え、長い間地域医療に取り組む歴史ある病院です。

令和4年6月に全職員の悲願であった館山病院の新築移転が実現しました。南房総の温暖な気候のもと、「豊かな自然・海と山のリゾートホスピタル」をキーワードに、ホスピタリティと機動力を発揮するケアミックス病院が完成しました。

### リハビリテーションを核に 「急性期・回復期・慢性期医療」の診療体制を整える

一方で、安房地域全体の高齢化率は40%を超えています。安房医療圏で208床の病床を配置し急性期から慢性期の医療を展開、地域のニーズに沿った外来診療、在宅ケアを提供するための体制を強化しました。

ベッドサイドリハビリテーションを意識しスペースを確保した病棟。リハビリテーション室から直ぐに屋外散策や訓練ができるリハビリ庭園を併設した外来。その他、屋上には周回250mの歩行訓練ができるリハビリ回廊を設置、通所リハビリテーション室を完備するなど核となるリハビリテーションに関わる機能を充実させました。

高齢の方々の生活を考えると、退院で終わりではなく、訪問診

察や訪問看護、訪問および通所リハビリテーションと病院が積極的にかかわり、自宅での生活をサポート、そして、エンディングを迎えるまでお付き合いをする——そのためにもリハビリテーションの重要性がより一層増します。

また、食事も人生の中心にあり、健康生活の大切な要素となりますが、摂食嚥下機能の低下により栄養障害や誤嚥性の肺疾患に直結しかねません。そこで、口腔機能の面からもリハビリテーションを強化し、食べる力を改善しながら健康維持につなげることも目指していきます。

### 病院と在宅医療、介護との関係強化

つぎに、当院は医療と介護の一体化を目指し、在宅復帰をゴールとする要介護の方々を入所対象とした、病院併設型の介護老人保健施設を令和6年より運営します。

患者さんを包括的にケアするためには、医師、看護師、薬剤師、栄養士、療法士のチーム医療を徹底しながら、医療としての情報だけではなく、患者さんに関わる全ての職員が同じ方向に向かわなければなりません。そこで、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、訪問看護師、訪問介護士、他医療機関、福祉施設、さらには行政をも含めた地域での連携が必要になってくるのです。患者さんや介護者が何を求めているのか、全体の情報を共有し合うことで退院後の継続的な医療が生まれます。

当院では、この様に「医療・介護・福祉」多職種連携システムを徹底させることで、その人らしい生き方、少しでも快適な暮らしをサポートする「地域密着型のケアミックス病院」でありたいと考えています。

### 病院のこれから

職員の意見や患者さんの要望を反映した新病院で、理念やコンセプトに基づき、地域に密着した医療・介護を展開していきます。

大学病院、徳洲会グループ病院の協力を得て、整形外科手術の開始および診療の拡大、循環器内科の心臓カテーテル検査・治療も開始します。それに伴い急性期から慢性期の領域を拡充するため、職員の技術研修も行っています。

前述の通り、令和6年2月1日には介護老人保健施設(100床)が開設し、ケアミックス病院としての更なる充実を目指していきます。

また、平成23年の東日本大震災や令和元年房総半島台風による災害の経験を活かし、当院大多目的室(120人収容)での避難者受入れなど、訓練を強化し災害時にも迅速に対応できる病院として整備を進めていきます。

### 生命(いのち)だけは平等だ

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院

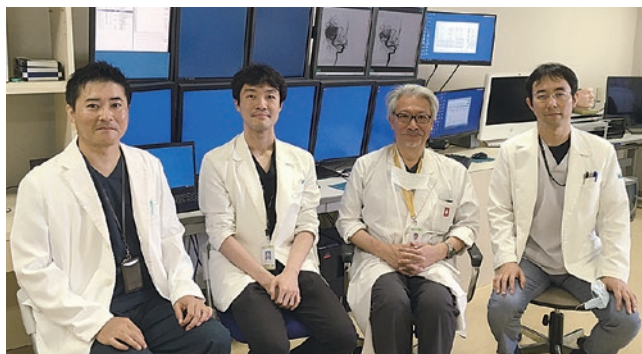
この理念のもとに、「チーム医療」と「地域医療」を徹底してまいります。



# 当院診療科より

## 脳血管内治療科

部長 門岡 慶介



脳血管内治療科は2020年度に開設した新しい診療科で、いわゆる「脳脊髄血管のカテーテル治療」を専門としている診療科です。

脳神経外科の専門領域の一つとして1990年代に保険収載され、2019年度までは当院でも脳神経外科内でこの治療を行って参りました。私自身の基本診療科も脳神経外科です。しかし、後に述べる経皮的脳血栓回収術(血栓回収)の増加や、低侵襲治療へのシフトなどにより高まる需要を背景に、脳神経外科から独立して治療を提供することになりました。



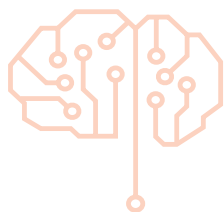
### ● 治療対象となる疾患は以下があります

#### ① 頭頸部の血管病変

- ・ 脳動脈瘤
- ・ 頸動脈 / 頭蓋内動脈狭窄症
- ・ 脳動静脈奇形
- ・ 硬膜動静脈瘻 など

#### ② 脊髄血管障害

- ・ 脊髄硬膜動静脈瘻
- ・ 脊髄動静脈奇形 など



以下に当院/当科の特徴を列挙します。

### 1) 千葉県南部の脳卒中診療の要である

2019年に施行された「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する

基本法(いわゆる循環器病対策基本法)により、脳卒中は国を挙げて注力すべき疾患に挙げられました。脳卒中診療の地域格差をなくすべく、日本脳卒中学会主導で一次脳卒中センター(24時間365日、rt-PA静注療法を含む脳卒中診療を行える)を認定しており、2022年度は千葉県内で当院含め36病院が認定されました。中でも太い脳動脈が閉塞した患者さまに対し、カテーテルでその閉塞を解除する血栓回収療法を24時間行える(+その他人員や施設基準も満たす)病院が、一次脳卒中センターコア施設として認定されます。当院は2022年度千葉県南部(チーバくんの首から下)で唯一のコア施設(首から上には14施設)であり、その責任は重大です。脳神経内科、脳神経外科、救命救急科といった関連各科と連携を取り合っています。

### 2) 脳血管内治療に専従するからこそその診療水準

1人の医師が持つ時間や能力は有限です。従来通り1人の医師が脳神経外科手術と脳血管内治療を行うとなると、いずれも100%というわけはいかなくなります。現在我々は24時間365日の血栓回収療法をはじめとした緊急手術や高難度の予定手術など、あらゆる脳血管内治療に100%の力を注ぐことができ、高い水準の治療を提供できていると自負しています。手術件数も、2019年度まで脳神経外科内では年間60例ほどでしたが、当科開設後は増加を続け現在では150件ほどに達しています。より多くの方に当科の治療を提供するために、鴨川の亀田クリニック以外に、東京駅近くの亀田京橋クリニック、千葉市内の亀田総合病院附属幕張クリニック、館山市内の安房地域医療センターでの外来診療も行っています。

### 3) 研修施設としての魅力

日本脳神経血管内治療学会の定める専門医・指導医を取得するには、日本専門医機構の定める基本診療科(1階部分)のうち脳神経外科専門医、放射線科専門医、救急科専門医、内科認定医/専門医といった資格が必要です。脳神経外科内で脳血管内治療を行っている場合、他科から修練に来るのは基本診療科を跨ぐことになり、非常にハードルが高いわけですが、脳血管内治療(2階部分)に特化している分、脳神経外科以外の診療科からもスムーズに研修にお越しいただくことが可能です。現在も脳神経内科出身の先生が修練を積んでいますし、海外からの見学生/研修生も受け入れています。

これからも鴨川から臨床面、学術面の文武両道を motto に邁進していく所存です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

# 消化器外科より

## ロボット支援下手術

消化器外科 部長 中木 正文

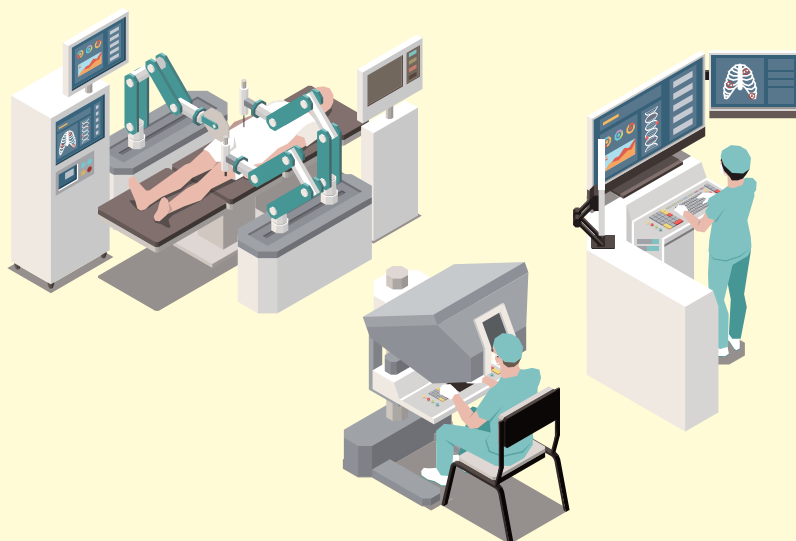
当院の消化器外科は上部消化管、下部消化管、肝臓・膵臓に分かれており、それぞれの専門領域を扱う専門スタッフを中心に診療を行っています。手術方法について以前は開腹手術が中心でしたが、近年では傷の小さな低侵襲の手術である腹腔鏡下手術を積極的に行い、早期に社会復帰できるよう努めています。悪性疾患では胃・食道、大腸・直腸、肝臓・胆嚢・膵臓に対して、また良性疾患では胆嚢炎、虫垂炎、鼠径ヘルニア、腸閉塞などに対して腹腔鏡下手術を多く行っています。特に救急で来院される胆嚢炎や虫垂炎の患者さまに対して、できる限り速やかに退院できるよう腹腔鏡下手術を中心に行っています。

低侵襲手術は、お腹に数個の小さな穴を開け、挿入した細径内視鏡の映像をモニターで観察しながら、長くて細い特殊な器具を用いて行う手術です。従来の開腹手術と違い、体壁を大きく切り開かずすみ、術後の疼痛が低減されるなど大きな利点があります。このため、術後の回復や社会復帰が格段に早く、傷跡が小さいことから美容的にも優れているなど、多くの長所を有しています。様々な領域において腹腔鏡手術の有用性が報告されています。また、近年の腹腔鏡手術に関する器械の進歩、外科医の技術の向上、またわが国の保険診療として認められたことにより、腹腔鏡手術が消化器外科領域を中心に全国に拡大しました。一方で腹腔鏡手術には様々な制限があり、欠点があるのも事実です。ロボット支援手術は体腔内に入れたカメラの映像と鉗子を用いた手

術であり、腹腔鏡手術で得られる利点は同様にあると考えられます。しかしロボット手術は腹腔鏡手術の様々な欠点をカバーしてくれます。

ロボット手術では、3Dモニターを見ながら、手ブレのない緻密な手術が可能です。がんの根治性の向上のほか、患者さまへのさらなる安全性と低侵襲性が期待できます。一方でロボット手術は触覚がないことで思わぬ力が加わってしまう等の欠点もありますが、これは症例を重ねることにより、カバーすることができます。消化器外科領域では2018年4月に食道癌・胃癌・直腸癌に対するロボット手術が保険適用となり、2020年には膵癌、2022年4月には結腸癌・肝臓癌に対するロボット手術も保険適応となりました。今後もさらに適応拡大が続くと考えられます。また医療費の負担は現在胃癌手術のみロボット手術加算がありますが、他は従来の腹腔鏡手術と変わりません。当科では2022年7月より胃癌に対して手術支援ロボット(ダビンチXi)を導入致しました。現在胃癌、直腸癌、膵癌、肝臓癌に対してロボット支援手術を行っています。合併症は腹腔鏡手術に比べて極めて少なく、良好な成績を収め、症例数は飛躍的に増加しています。今後結腸癌や鼠径ヘルニアなどに適応範囲を広げ、ロボット支援手術を更に拡大していく予定です。

患者さまの治療方針については、外科・内科の医師と週1回の合同カンファレンスを行い、病気の進行度、併存疾患、社会的背景などを総合して治療方針・手術方法を決定しています。ロボット手術に限らず、当科の豊富な内視鏡手術の手術経験に基づき、患者さまの負担を最小限にし、治療に専念していただけるような治療環境を提供できるように努めて参ります。適応となる患者さまのご紹介をいただけますと幸いです。



- ① 部署 職種
- ② 好きなスポーツ
- ③ 国内旅行どこに行く



**蔵本 浩一**

- ① 診療部 疼痛・緩和ケア科 医師
- ② 水泳
- ③ 糸島(福岡県)



**大川 薫**

- ① 診療部 在宅診療科 地域医療支援部 医師
- ② 野球(東京ヤクルト スワローズ)
- ③ 青森(県立美術館)



**草薙 洋**

- ① 診療部 消化器外科 医師
- ② サッカー
- ③ 沖縄



**宮地 康僚**

- ① 診療部 腫瘍内科 医師
- ② バスケ
- ③ 箱根



**渡邊 八重子**

- ① 看護管理部 看護師
- ② 体操です。高校時代は体操部に所属していました。
- ③ 紅葉の厳島神社



**影山 ユウ子**

- ① 地域医療連携室 看護師
- ② サッカー・野球(特にMLB大谷翔平)
- ③ 地獄谷



**川上 由美**

- ① 看護管理部 看護師
- ② テニス
- ③ 北海道



**吉野 有美子**

- ① 総合相談室 看護師
- ② ランニング
- ③ 温泉地



**安室 修**

- ① 薬剤部 薬剤師
- ② 野球
- ③ 九州温泉巡り



**鎌田 喜子**

- ① 総合相談室 MSW
- ② もうやってないけど 山登り・スキー・テニス
- ③ 北海道支笏湖畔 “丸駒温泉” 日帰り入浴



**児玉 照光**

- ① 総合相談室 MSW
- ② ウォーキング
- ③ 出雲大社に行きたい



**長江 弘子**

- ① 亀田医療大学 教授
- ② テニス錦織圭さん 応援してます。
- ③ やっぱり、宮古島



**中村 雅代**

- ① 地域医療連携室 事務
- ② フィギュアスケート
- ③ 屋久島



**大橋 洋子**

- ① 地域医療連携室 事務
- ② バスケ
- ③ 白川郷



**黒川 亜純**

- ① 地域医療連携室 事務
- ② 野球
- ③ 銀山温泉



**林 裕子**

- ① 地域医療連携室 事務
- ② 野球観戦
- ③ 伊勢神宮

## レストラン 亀楽亭

今回より「かめだより」に亀楽亭、他レストランのご紹介をさせていただきます。

亀田総合病院Kタワー13階にありますレストラン亀楽亭をご存じでしょうか？ 亀田クリニックで人間ドックを受けた方は、ドックが終わりほっとした気持ちで、ご利用いただいたことがあると思います。今回は初回と言うことで、亀楽亭ならではのメニューをご紹介します。



鉄板焼き



串揚げ

亀楽亭では病院のレストランでは珍しい、鉄板焼き・串揚げコーナーがあります。「鉄板焼き」はシェフのパフォーマンスを楽しみながら、四季折々のコースメニューが堪能できます。前菜から始まり、サラダ・和牛ステーキ・デザートまで、鴨川の夜景を一望できるお席で素敵な時間を過ごしてみませんか？ 両サービスとも完全予約制になります。お気軽にご連絡下さい。

**予約電話番号：04-7099-1305**

Instagramにメニュー詳細、料金が投稿されています。是非フォローして頂き、内容をご確認下さい。



KIRAKUTEI\_K13